



# 第9回 卒業証書授与式 挙行

第9期生

225名

文理総合科総代  
数理科総代

新城祐也くん (3年2組 東中出身)

堀越優弥くん (3年6組 北中出身)



平成28年3月1日(火)、第9回卒業証書授与式が挙行されました。当日は保護者、来賓の方々のご列席を賜り、厳粛な雰囲気の中で行われました。

司会の「卒業生入場」を合図に、3学年担任の1組下風博之教諭、2組前原和紀教諭、3組近江俊哉教諭、4組黛規夫教諭、5組高木宣広教諭、6組前原玄教諭の先導に続いて卒業生が入場しました。卒業証書授与では、卒業生は担任の呼名に「はい」と返事をし、起立していきました。卒業生全員の呼名が終了すると、文理総合科総代の新城祐也くんと数理科学科総代の堀越優弥くんの二人に町田仁校長から卒業証書が授与されました。卒業生も二人にあわせて一斉に礼をし、卒業証書授与が終了しました。賞状授与では皆勤賞(63名)が、代表の茂木彩香さん(3年4組 鬼石中出身)に授与されました。続いて校長式辞、近藤郁美同窓会長、関光子PTA会長の祝辞が行われ、それぞれ新しい歩み始める卒業生にメッセージが贈られました。校長式辞では、シェークスピアの戯曲の一節である「過去は物語の前書き

(プロローグ)」を冒頭で紹介し、結びでは人生を航海に例え「素晴らしい旅を続けてくれることを祈り続ける」と述べ、高校生活という過去の歴史の上に立ち、未来へと歩み始める卒業生に饒の言葉を贈りました。送辞は在校生を代表して浅野開くん(2年4組 東中出身)が、答辞は卒業生を代表して高橋美和さん(3年6組 東中出身)が行いました。答辞では入学当初の様子、生徒会行事や沖縄修学旅行の思い出、3年間支えてくれた保護者と先生方への感謝の言葉、在校生へのメッセージ、そして未来への強い決意が述べられました。保護者代表謝辞では、保護者を代表しPTA3学年委員長の森本加寿子さんが、これまでの教職員の指導に対する謝辞を述べました。

式は滞りなく終了し、吹奏楽部員による「威風堂々」が演奏されるなか、卒業生は来賓、保護者、在校生、教職員の盛大な拍手に見送られ、退場しました。その後、善養寺3学年主任より保護者の方へ向けて3年間の感謝の言葉が贈られました。



こちらから、校長式辞全文が掲載されているHPに飛べます。

# 卒業式後の教室では・・・

教室に戻った生徒たちは、担任の先生から一人ひとりに卒業証書を授与されました。クラスメイトや先生と記念写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりと最後のホームルームで別れを惜しむ様子が見られました。



## 平成27年度 奨励賞受賞者

2月29日(月)卒業式予行後に、平成27年度奨励賞の授与式が行われました。奨励賞は運動部、文化部等において全国大会等に出場し、選考委員会から推薦された個人及び団体を対象としています。受賞された個人及び団体は次の通りです。

### 〈個人〉

なぎなた部 石橋真帆さん

(3年 太田旭中出身)

### 弓道部

町田葵さん

(2年 八幡中出身)

### 新体操部

五十嵐梨沙子さん

(2年 神川中出身)

### 新体操部

丑館美音さん

(2年 塚沢中出身)

### 〈団体〉

#### 弓道部

(代表 町田葵さん)

#### 和太鼓部

(代表 堀越俊樹くん)

#### 放送部

(代表 久保田百香さん)

## 新聞切り抜きコンクール 入選



本校は平成26年度から2年間、NIE実践指定校として図書委員会を中心に、新聞をさまざまな活動に活用する取り組みをしてきました。その一環として、東京新聞主催の「新聞切り抜きコンクール」に図書委員と国語表現選択者16名が作品を応募しました。(2年連続で応募) 7作品応募した中で、2年4組の寺田耀祐くん、福島隆也くん、真下涼平くんが作成した「参政権 18歳の考えは？」が応募総数約700点の中から入選しました。この作品は、数社の新聞を読み比べ、参政権について自分たちの意見を見やすく、そして分かりやすくまとめたため、評価されました。

# 祝 科学部全国大会出場!

能はもろろん、プログラミングによってロボットをどのように動かすかが勝敗の決め手となる競技です。全国大会は3月25日(27日)に愛知工業大学で行われます。顧問の岡田教諭は「優勝し、世界大会に進みたい。」と目標を話してくれました。

2月7日(日)に群馬大学理工学部でロボカップジュニア2016の群馬ブロック大会が行われ、1年生の科学部4名、矢嶋佑亮くん(玉村南中出身)、竹内佐京くん(玉村南中出身)、村越将也くん(小野中出身)、高津慎哉くん(小野中出身)で構成されるチーム「藤岡中央の左足」がサッカーオープンリーグで優勝(4年連続)し、全国大会への出場権を得ました。(ロボカップジュニアは、国際科学技術コンテストの1つで世界大会も行われています)サッカー部門は、自律型ロボットが赤外線ボールを使って2対2でサッカーを行い、機体の性能はもろろん、プログラミングによってロボットをどのように動かすかが勝敗の決め手となる競技です。

